

## 2 月 補 正 事 業 計 画 書

令和 4 年度 [ 環 境 創 造 局 ]

事 業 名
8 款 1 項 2 目 地籍調査事業

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	負担金	その他	市債	一般財源
現計予算額*	61,047		33,255		23		27,769
執行見込額	85,427		51,540		23		33,864
今回補正額	24,380	0	18,285	0	0	0	6,095

### 【事業概要】

地籍調査は、一筆ごとの土地について、その所有者、地番、地目の調査、並びに境界及び地積に関する測量を行い、その結果として地図（地籍図）及び簿冊（地籍簿）を作成し、地籍の明確化を図ることを目的として実施しています。

### 【補正概要】

#### 地籍調査<補助事業>

国の「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」における施策の一つとして、「地域における防災・減災、国土強靱化（迅速な災害復旧・復興、社会資本整備の基盤となる地籍調査の推進）」を推進するため、国の令和4年度補正予算に対応して地籍調査を実施します。

- ・実施予定地区：金沢区釜利谷東二丁目の一部ほか
- ・実施期間：令和5年4月～令和6年2月
- ・財源内訳：県3/4（うち国2/3）、市1/4

### 【事業費の内訳】

	現計予算額 A	補正額 B	補正後 現計予算額 A+B	説 明
地籍調査事業費	61,047	24,380	85,427	測量等委託料
			0	
			0	
合 計	61,047	24,380	85,427	

### 【事業スケジュール】

#### 地籍調査事業

令和5年4月	5月～令和6年1月	2月
契約	進捗確認等	完了検査・認証者検査

\*現計予算額とは、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。

## 2 月 補 正 事 業 計 画 書

令和4年度 [ 環境創造 局]

事業名
8 款 1 項 3 目
みどり基金積立金

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	負担金	その他	市債	一般財源
現計予算額*	2,854,000	0	0	0	0	0	2,854,000
執行見込額	2,919,366	0	0	0	0	0	2,919,366
今回補正額	65,366	0	0	0	0	0	65,366

**【事業概要】**

緑豊かな潤いのある都市の実現に向け、緑の保全と創造を推進する「横浜みどりアップ計画[2019-2023]」に必要な経費に充てるため、横浜みどり税の税収相当額を「横浜市みどり基金」に積み立てます。

**【補正概要】**

令和3年度の横浜みどり税決算額確定に伴う積立金の増額

3年度税収見込額（当初予算額）	2,805,000,000 円
3年度税収決算額	2,870,365,826 円
<u>差引（積立不足額）</u>	<u>65,365,826 円</u>

**【事業費の内訳】**

	現計予算額 A	補正額 B	補正後 現計予算額 A+B	説 明
みどり基金積立金	2,854,000	65,366	2,919,366	「横浜市みどり基金」に対する積立金
合 計	<b>2,854,000</b>	65,366	2,919,366	

**【事業スケジュール】**

- ・～令和4年3月：税収見込額積立
- ・令和4年6月末：税収決算額確定
- ・～令和5月3月：積立不足額の積立

\*現計予算額とは、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。

## 2 月 補 正 事 業 計 画 書

令和4年度 [ 環境創造 局]

事業名
8 款 2 項 1 目 企画事業

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	負担金	その他	市債	一般財源
現計予算額*	21,177				8,068		13,109
執行見込額	23,177				10,068		13,109
今回補正額	2,000	0	0	0	2,000	0	0

### 【事業概要】

- ①「横浜市環境管理計画」推進事業  
「横浜市環境管理計画」を総合的に推進し、この取組状況と横浜の環境の状況を総合的な視点でとりまとめ、年次報告書として公表します。
- ②水と緑の基本計画推進事業  
「横浜市水と緑の基本計画」における、水と緑の目標像の実現に向けて事業推進します。
- ③環境創造審議会運営  
横浜市の環境の保全及び創造に関する事項について、環境創造審議会において調査審議します。
- ④その他事務費  
今回補正要求する環境保全基金は、良好な環境の保全・創造を図るために、「横浜市環境保全基金条例」により、平成2年3月24日に設置した基金です。環境保全に関する知識の普及や実践活動を支援し、地域に根ざした環境保全活動を展開するために、市民・企業等の皆様から環境保全基金にいただいた寄附金等を活用しています。

### 【補正概要】

横浜市環境保全基金に対し、12月末現在、ふるさと納税などにより、当初予算を上回るご寄附をいただきました。基金に積み立てるにあたり、積立金が当初予算額を超過するため、第4四半期見込額を含め積立金を要求します。

### 【事業費の内訳】

	現計予算額 A	補正額 B	補正後 現計予算額 A+B	説 明
①「横浜市環境管理計画」 推進事業	6,145	0	6,145	
②水と緑の基本計画推進事業	4,324	0	4,324	
③環境創造審議会運営	683	0	683	
④その他事務費	10,025	2,000	12,025	ふるさと納税等による寄附金の増に伴う基金積立金の増額
合 計	<b>21,177</b>	<b>2,000</b>	<b>23,177</b>	

### 【事業スケジュール】

- ①「横浜市環境管理計画」推進事業  
横浜市環境管理計画推進：通年
- ②水と緑の基本計画推進事業  
水と緑の基本計画推進：通年
- ③環境創造審議会運営  
審議案件に合わせて適宜開催
- ④その他事務費  
環境保全基金寄附受納：通年

\*現計予算額とは、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。

## 2 月 補 正 事 業 計 画 書

令和4年度 [ 環境創造局 局]

事業名
8 款 2 項 3 目 管理運営費

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	負担金	その他	市債	一般財源
現計予算額*	112,767	84,575			55		28,137
執行見込額	118,779	89,084			55		29,640
今回補正額	6,012	4,509	0	0	0	0	1,503

**【事業概要】**

昭和51年4月の研究所開所に伴い、効率的な施設の維持管理および安全かつ良好な執務環境の確保を行うために実施します。  
 なお、平成27年4月に神奈川県恵比須町（賃貸）へ移転しました。

**【補正概要】**

令和4年度予算の光熱水費について、電気料金の高騰により施設の維持管理が困難なため、補正要求します。

- ① 年度当初での積算根拠  
 令和3年度電力使用量                    668,000kwh  
 令和3年度電気料金平均単価            21円
  
- ② 令和4年10月現在での状況  
 令和4年度電気料金平均単価            27円  
 令和4年10月分単価                      31円  
 今後の平均予想単価                      30円

**【 事業費の内訳 】**

	現計予算額 A	補正額 B	補正後 現計予算額 A+B	説 明
光熱水費（電気代）	14,028,000	6,012,000	20,040,000	電気料金高騰による増
管理運営費	98,739,000	0	98,739,000	
合 計	<b>112,767,000</b>	6,012,000	118,779,000	

**【 事業スケジュール 】**

令和3年度、4年度：神奈川県環境研究機関協議会、全国環境研協議会関東甲信静支部の事務局運営

庁舎賃貸借契約：平成26年11月1日から令和15年10月31日まで

\*現計予算額とは、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。

## 2 月 補 正 事 業 計 画 書

令和4年度 [ 環境創造 局]

事業名
8 款 5 項 1 目
公園維持管理事業

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	公園使用料	その他	市債	一般財源
現計予算額*	3,350,977	0	0	835,240	83,773	0	2,431,964
執行見込額	3,450,950	0	0	835,240	83,773	0	2,531,937
今回補正額	99,973	0	0	0	0	0	99,973

**【事業概要】**

市内に約2,700か所ある公園のプール・遊具等施設の定期的な点検及び日常的な清掃、警備、草刈、樹木の剪定等維持管理を実施します。

①街区・一般公園管理業務 市内約2700公園の樹木剪定、草刈り、遊具点検及び修繕、清掃、警備等の日常管理に関わる業務

②電気設備等管理業務 照明等運営に要する設備の保守点検

③指定管理者移行業務 公募選定等指定管理者移行業務

④財産管理業務 公園財産の管理

⑤公園の公民連携推進業務 パークマネジメントプランの策定や運用、Park-PFIに伴う横浜市公園公民連携推進委員会の開催

**【補正概要】**

大規模な公園施設照明等の高圧電気使用料や市内の身近な公園の照明灯等の電気使用料が、物価高騰の影響に伴い大幅に上昇し、光熱水費が増加するため補正します。

- ・高圧電気の使用契約をしている公園：12か所  
 山下公園、アメリカ山公園、元町公園、クロス・パティオ、こども自然公園、菊名池公園、都筑中央公園、茅ヶ崎公園、山崎公園、グランモール公園、横浜公園、舞岡公園

**【事業費の内訳】**

	現計予算額 A	補正額 B	補正後現計 A+B	説 明
①街区・一般公園管理業務	3,202,825	99,973	3,302,798	<b>【現計予算電気代内訳】</b> 公園の照明灯等：(①街区・一般公園管理業務用) 165,480千円 高圧電気契約：(②電気設備等管理業務用) 47,678千円 <b>【執行見込み額】</b> 公園の照明灯等：(①街区・一般公園管理業務用) 227,903千円 高圧電気契約：(②電気設備等管理業務用) 85,228千円 <b>【補正要求金額】</b> 執行見込一現計予算 公園の照明灯等：(①街区・一般公園管理業務用) 62,423千円 高圧電気契約：(②電気設備等管理業務用) 37,550千円
②電気設備等管理業務	113,711	0	113,711	
③指定管理者移行業務	2,766	0	2,766	
④財産管理業務	24,912	0	24,912	
⑤公園の公民連携推進業務	6,763	0	6,763	
合 計	<b>3,350,977</b>	99,973	<b>3,450,950</b>	

**【事業スケジュール】**

高圧電気料金契約

4 年度				
4 月～11月	1 2 月	1 月	2 月	3 月
当初契約	変更契約			

\*現計予算額とは、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。

## 2 月 補 正 事 業 計 画 書

令和4年度 [ 環境創造 局]

事 業 名
8 款 6 項 1 目
公園整備事業

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入		市債	一般財源
現計予算額*	15,524,899	3,541,320	0	55		7,679,000	4,304,524
執行見込額	16,024,899	3,541,320	0	55		8,049,000	4,434,524
今回補正額	500,000	0	0	0	0	370,000	130,000

**【事業概要】**

居住地から歩いていける身近な公園の整備や、緑の七大拠点等、市内にまとまって残された水・緑環境の保全及び活用を推進します。

また、公園の持つ機能が十分発揮できるよう地域のニーズを反映しながら、再整備改良事業を計画的に実施することにより「緑」の総量の維持・向上に取り組み、都市における快適で安全な緑の空間を創造し、市民生活に供していきます。さらに、基地跡地における大規模な土地利用転換の機会を活用した新たな公園整備を進めます。

**【補正概要】**

年度末から年度当初にかけての切れ目ない公共工事を実施するため、公園の再整備や施設改良工事等を前倒し実施します。

また、起債対象事業の増加に伴う財源更正を実施します。

	補正額	市債	一般財源
増額補正	500,000	250,000	250,000
財源更正	0	120,000	▲ 120,000
計	500,000	370,000	130,000

**【事業費の内訳】**

	現計予算額 A	補正額 B	補正後 現計予算額 A+B	説 明
公園整備事業	15,524,899	500,000	16,024,899	施設改良工事等を前倒し実施
合 計	15,524,899	500,000	16,024,899	

**【事業スケジュール】**

5 年 度												
3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
設計・積算	設計・積算	契約										完了

\*現計予算額とは、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。

## 2 月 補 正 事 業 計 画 書

令和 4 年度 [ 環境創造局 局]

事 業 名
17 款 1 項 14 目
下水道事業会計繰出金

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	負担金	その他	市債	一般財源
現計予算額*	41,074,493						41,074,493
執行見込額	41,816,949						41,816,949
今回補正額	742,456	0	0	0	0	0	742,456

**【事業概要】**

総務副大臣通知「地方公営企業繰出金について」等に基づき、下水道事業会計への繰出金（雨水処理経費・行政的経費等）について、計上します。

**【補正概要】**

給与改定及び共済費料率等の増加及び燃料価格高騰の影響による動力費の増加について、下水道事業会計への繰出金の増額分を計上します。

**【事業費の内訳】**

	現計予算額 A	補正額 B	補正後 現計予算額 A+B	説 明
① 3 条基準内	39,816,158	742,456	40,558,614	人件費及び動力費の増加に伴い発生する、雨水処理経費等の繰出金増額分
② 3 条基準外	715,610	0	715,610	
③ 4 条基準内	542,725	0	542,725	
合 計	<b>41,074,493</b>	742,456	41,816,949	

**【事業スケジュール】**

\*現計予算額とは、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。

## 2 月 補 正 事 業 計 画 書

令和4年度 [ 環境創造 局 ]

事業名
下水道事業会計収益的支出 1 款 1 項 3 目 水再生センター事業

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳					
		国	県	諸収入	東京電力HD賠償金	企業債	下水道使用料等
現計予算額*	16,471,626			2,213,689	134,331		14,123,606
執行見込額	17,905,849			2,213,689	134,331		15,557,829
今回補正額	1,434,223	0	0	0	0	0	1,434,223

**【事業概要】**

11か所の水再生センター、2か所の汚泥資源化センター及び2か所の工場排水処理場の維持管理。

**【補正概要】**

- ◆事業目的  
公共用水域の水質保全を図るため汚水を処理後放流するとともに、雨水を速やかに排水することにより、市民を浸水の危険から守ります。  
また、汚水を処理する工程で発生する汚泥は、燃料化物の製造及び脱水焼却し減量化を図っています。
- ◆補正概要  
電気料金高騰の影響等により、水再生センター・汚泥資源化センターで使用する動力費が不足するため、今後必要な動力費を補正要求します。  
・対象施設：11か所の水再生センター、2か所の汚泥資源化センター  
・要求補正額：約14億円

**【事業費の内訳】**

	現計予算額 A	補正額 B	補正後 現計予算額 A+B	説 明
水再生センター事業動力費	5,315,189	1,434,223	6,749,412	・電気料金における燃料費調整単価の増 ・都市ガス料金における原料費調整額の増
合 計	<b>5,315,189</b>	<b>1,434,223</b>	<b>6,749,412</b>	

**【事業スケジュール】**

通年

\*現計予算額とは、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。